

UNIFI-ES

セッションの有効期限設定について

セッションに関して一部仕様変更となりましたのでお知らせいたします。

仕様変更内容

セッションの有効期限設定無 → 有効期限を7日へ変更しました。(2023/7より)
※残存したセッションは既存分含めて設定期間後に自動削除されます。

セッションの有効期限とは

編集権限を持つユーザーは同一データに編集権限を持って同時に接続できません。
先に編集権限を持つユーザーがデータにアクセスするとセッションが開始されます。
有効期限とは上記のセッションを維持する期限を指します。
セッションが開始されると以下の様に他者は編集権限を持ってアクセスできません。

↓セッションが開始されているために編集権限でアクセスすることを不可とする表示



この表示がある場合は

- ・既に編集中、もしくは編集不可能な状態です。
- ・編集権限を持ってデータにアクセスすることはできません。
- ・セッションが終了するまで待つ必要があります。
※セッションの単位はアクセス単位となります。

セッションは何故、残存するのですか？

以下の様な場合にセッションが残存する可能性があります。

- ・機器、点検、修理の詳細画面を開いたままブラウザを閉じる。
- ・機器、点検、修理の詳細画面を開いたまま別の機能へ変遷する。

※対策プログラムがありますので必ず残存するというものではありません。

※ご利用のブラウザ、Ver、Network環境等、様々な影響により残存することがあります。

メリットとデメリットについて

メリット

不要なセッションが自動削除されます。

長期間維持されたセッションによりアクセス制限がかかることを防ぐことができます。

デメリット

特にありません。

仮にブラウザ上で7日間以上継続して表示していた場合にのみ更新が出来なくなります。